

『いのちの大切さ』を伝えるため、ザリガニの飼育を始めて2年。毎朝、餌を与えたり、水を換えたりしながら、元気に生きていることを確認するのが日課になりました。

4月より、水槽を2階北側トイレ前の廊下に移動したところ、子ども達が必ず通る場所だけあって、興味深く観察する子が急増しました。「トイレに行ったきり戻ってこない？」と保育者からは嘆きの声があるものの、水槽を覗き込んでいる子ども達のまなざしは真剣そのもの。「はやくお部屋に戻らないと…」とついつい言いそびれてしまいます。

子ども達は、水槽の中がいつも同じ状態であれば安心したようにそのまま立ち去ります。変化を発見するとそれは大騒ぎ。「死んでるよ！」「死んでるよ！」と慌てふためいて周囲にいる友達に伝えたり、保育者を呼びに来たりしました。何度も同じ様子を目にしたことで、ザリガニは脱皮しながら成長していくことを学びました。そして、今では生態を理解し、「大きくなったんだね！」「赤ちゃんが子どもになったね。」と安堵した会話が聞かれるようになり、自分の成長と重ね合わせているような場面に出会うこともあります。



小動物の飼育を通して、「いのち」をどのように伝えていったらよいのか、子ども達はどのように感じているのか考えています。生きているものには触れようとしないのに、死骸には興味を示し、「これ、命がなくなったんだね。」と自分のロッカーにしまいこむ姿があったり、死んでしまったものでも水槽に戻せば生き返ると水に浮かべる子もいます。子ども達の思いは様々です。

そういった中で、「小さい生き物は命が短いから大切にしていけないといけないんだよ。」と言った子がいます。驚きました。私はその言葉で、子どもに教えられたなと思いました。まずはそのものに注ぐ優しい気持ち、あったかい心を育てることが大切と強く感じました。

こどものつぶやき

バスの中から空を見ながら
まなは「こ～んなおおきなくもがいたよ。おそらの
たかいところにいたよ」



大事件発生！
うみ「せんせい、大変！こじか組のさかながひとり死んでます」
いつもの運転手さんが休まれた日に
あやの「なんだか今日の運転手さん、顔も声も違う。どうしたの？」

げんきっこ

NO.6

2011.10

岐阜聖徳学園大学附属幼稚園



天高く、涼風が心地よい季節になりました。スポーツの秋、芸術の秋、実りの秋、読書の秋など、様々に形容されるように秋は活動的になれる時です。間近に迫った運動会では、みんなで体を動かすことの楽しさを味わいながら、心身ともにみのりあるものにしたいと思っています。当日は、ご家族の皆さん方においでいただき、子ども達の力いっぱい頑張る姿に拍手や声援を送っていただくようお願いいたします。

<子どもの姿>



山下先生から速く走るコツを教えてもらう子ども達の表情は真剣そのもの



園長先生も
頑張ってる！



年少さんも大きい子に負けないように
頑張って走れるよ。よーいどん！



砂場のパーゴラにミストシャワーが
設置されて、汗ばむ日も快適です。



今年も大根がたくさんできますように...

<お母さんの子育てメモ> 祖父母参観に感謝！

宮崎 幸代

最近、娘の様子が変わったんです。私のお尻を追い掛け回してポンポン押して来たり、自分のおヘソをじーっと観察したり…。いつもは多弁な娘ですが、どうしたの？と聞くとエヘヘと照れるだけ。その謎は、祖父母参観で解けました。

ステージのダンスで、お友達とペアになってお互いのお尻を追い掛けっこしてお尻タッチ！皆、すごく楽しそうで、キャッキョッと笑っていて、見ているおじいちゃん、おばあちゃんも大笑い。おヘソダンスでは、皆が可愛いおヘソを披露してくれました。

今年はとっても盛り沢山のステージショーで、100%勇気！も2回連続元気に歌ってくれました。一番驚いたのは、去年はステージに背中を向けたり、ずっと指を吸っていたり、モジモジしたりと色々な子がいましたが、今年のステージでは皆がしっかりと先生の振り付けを目で追って、大きな口を開けて歌って、笑顔で踊って、見ている私達も嬉しくて仕方が無いものとなりました。



とりわけ楽しかったのは、「皆さ～ん、若い頃を思い出して踊りましょう～♪」という、きえこ先生のノリノリの掛け声で始まった保護者と子どものペアダンス。音楽に合わせて大好きな子どもと踊るおばあちゃん達は、とっても幸せそうでした。

新幹線に乗って奈良から駆け付けた母は、「ダンスの1回目はママに遠慮して見学したけれど、先生に気持ちが伝わってアンコールして貰えたので、2回目に出番が回って来て感激した。孫のお友達のおじい様やおばあ様達とお話しながら協力してフォトスタンドを作って楽しかった。」と申ししていました。

プロ中のプロ、皆に笑いを与えてくださるきえこ先生、いつも温かい笑顔でトキメキを与えてくださるなつみ先生、そしてこの日のために準備して下さった役員の皆様、素晴らしい祖父母参観をありがとうございました。

保護者会からのお知らせとお願い



10月15日の運動会では、保護者会役員も準備や進行のお手伝いをさせていただきます。昨年同様、芝生の会場は観覧席が狭く、優先席としてプログラム順に保護者の皆様には移動をお願いすることになります。譲り合いの気持ちを大切に、お子さんの出番が終わりましたら速やかにお立ちいただくようご協力をお願いいたします。年次別テント内での椅子の使用は可能ですので、ご年配の方はご持参ください。また、運動会終了後のテントの撤去などにご協力いただける方はどうぞよろしくお願いいたします。

